

## 第二部 紀 要

# I 業績

## 1. 健康科学部門

吉川 弘明

学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学附属病院安全衛生委員会委員
- ・ 金沢大学宝町・鶴間地区事業場安全衛生委員会委員
- ・ 金沢大学安全衛生マネジメント委員会委員
- ・ 金沢大学感染症対策検討委員会委員
- ・ 金沢大学感染症予防・対策委員会委員
- ・ 金沢大学学生生活部会委員
- ・ 金沢大学喫煙対策ワーキング・グループ長
- ・ 金沢大学学生支援 GP「心と体の育成による成長支援プログラム -社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成-」推進責任者・学生支援 GP プロジェクトメンバー

学内での教育的活動

- ・ 共通教育科目 大学社会生活論「健康論」（前期、角間） 2クラス担当。
- ・ 共通教育科目 「健康論実践1-救急蘇生と安全な大学生活-」（後期）主任講師。2008年度1クラス、2009年度1クラス。
- ・ 共通教育科目 「健康論実践2-生活習慣病予防を食事から考える-」（後期）主任講師。2009年度1クラス。
- ・ 医学部神経内科系統講義「神経筋接合部疾患および筋疾患」（後期、宝町） 1コマ担当。
- ・ 自然科学研究科（前期課程）医療薬学専攻 「臨床薬物治療額」 6/6コマ担当

学内での診療活動

- ・ 附属病院神経内科外来担当（水曜日午前）
- ・ 附属病院セカンド・オピニオン外来担当（重症筋無力症）

学内講演

- ・ 2008. 6. 23 第187回共同学習会 発表者 「コミュニケーション・プレイスについて -学生支援 GP シリーズ第二回-」
- ・ 2009. 10. 6 第246回共同学習会 発表者 「学生支援 GP の健康教育について -学生支援 GP シリーズ第三回-」
- ・ 2009. 2. 17 第二回金沢大学学生支援 GP フォーラム 講演 「心と体の育成による成長支援プログラム 実施報告」
- ・ 2009. 5. 26 学生支援 GP アカンサス・セミナー「頭痛とウェルネス向上への取り組み」講演「慢性頭痛について」
- ・ 2009. 10. 7 学生支援 GP 金大祭 新型インフルエンザ対策説明会 講演

## 学会発表

- 丸田高広、吉川弘明、梅下 翔、高瀬文超、吉川弘毅、角 弘諭、枝廣茂樹、本崎裕子、岩佐和夫、山田 正仁：重症筋無力症における抗骨格筋抗体の作用機序：抗 DHPR 抗体、抗 RyR 抗体を中心に。第 20 回日本神経免疫学会学術集会、新潟、2008.04.17-18
- 丸田高広、吉川弘明、足立由美、鈴木健一、佐藤日出夫、柴田裕行、岩佐和夫、山田正仁；能登半島地震における神経難病患者の身体・社会的被害と心身の障害に関する調査。第 49 回日本神経学会総会、横浜、2008.05.15-17
- 丸田高広、吉川弘明、岩佐和夫、山田正仁；脳梗塞遠隔効果の回復期リハビリ加療に関する画像検討。第 26 回日本神経治療学会学術集会、横浜、2008.06.26-27
- 吉川弘明：今だからこそ健康診断をもう一度考える IT 化導入について -反省と未来への展望-：第 46 回全国大学保健管理協会東海北陸地方会、岐阜、2008.07.24-25
- 丸田高広、吉川弘明、角 弘諭、根上昌子；レビー小体型認知症における自律神経検査の選択。第 27 回日本認知症学会学術集会、前橋、2008.10.10-12
- 丸田高広、吉川弘明、角 弘諭、根上昌子；レビー小体型認知症における自律神経検査の選択。第 27 回日本認知症学会学術集会、前橋、2008.10.10-12
- 吉川弘明、足立由美、鈴木健一、宮崎節子、田上芳美、林佳子、廣川早苗、岡本沙織、高信雅子、亀田真紀、岩田恭宜、内山勝晴、古川侃：頭痛保持者の QOL に関する疫学的調査 -健康診断に始まる学生支援の視点から-：第 46 回全国大学保健管理研究集会、京都、2008.10.29-30
- 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、林佳子、廣川早苗、岡本沙織、高信雅子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川侃：肥満、やせの学生の QOL 評価と健康教育 -BMI と SF36、ライフスタイル（食事、運動）との関連-：第 46 回全国大学保健管理研究集会、京都、2008.10.29-30
- 丸田高広、吉川弘明、高瀬文超、中村紗季、吉川弘毅、琢磨寛孝、角弘諭、枝廣茂樹、岩佐和夫、山田正仁：筋無力症における抗 Synaptophysin 抗体の検出。第 21 回日本神経免疫学会学術集会、大阪、2009.03.12-13
- 丸田高広、角弘諭、吉川弘明、岩佐和夫、山田正仁：脳画像におけるペクトル合成技術の開発；脳血流画像を用いた検討。第 50 回日本神経学会総会、仙台、2009.5.20-22
- 吉川弘明：パネルディスカッション「新型インフルエンザ対策」 金沢大学における対応：第 47 回全国大学保健管理協会東海北陸地方会、富山、2009.07.23
- 足立由美、門地里絵、片山敦、吉川弘明：“居心地のよい”香りの使用が大学生の対人関係場面における自己効力感に与える影響：日本健康心理学会第 22 回大会、東京、2009.09.07-08
- 吉川弘明、足立由美、高信雅子、生田聡美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、鈴木健一、小泉順二：保健管理センターによる健康教育 1 -集中講義参加者の解析-：第 47 回全国大学保健管理研究集会、札幌、2009.09.16-17
- 足立由美、吉川弘明、高信雅子、生田聡美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、鈴木健一、小泉順二：保健管理センターによる健康教育 2 -集中講義の教育効果-：第 47 回全国大学保健管理研究集会、札幌、2009.09.16-17
- 内山勝晴、岩田恭宜、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、林佳子、古川侃：健診での心肥大に精密検査は必要か？ -NT pro-BNP を用いたスクリーニング-：第 47 回全国大学保健管理研究集会、札幌、

2009. 09. 16-17

- ・ 足立由美、吉川弘明：大学生に対する心と体の統合的健康教育プログラムの有効性に関する研究：第 68 回日本公衆衛生学会総会、奈良、2009. 10. 21-23

#### 学会における貢献

- ・ 全国大学保健管理協会 理事 評議員 機関誌「キャンパスヘルス」編集委員
- ・ 国立大学法人保健管理施設協議会 理事
- ・ 米国大学保健管理学会 (American College Health Association) 会員
- ・ 日本神経学会 評議員 専門医 指導医
- ・ 日本神経免疫学会 評議員
- ・ 日本神経治療学会 評議員
- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 米国神経学会 (American Academy of Neurology) 会員
- ・ 日本産業衛生学会 会員
- ・ 日本健康心理学会 会員
- ・ 日本神経心理学会 会員
- ・ 日本臨床薬理学会 会員

#### 学会論文査読

- ・ 2008 (平成 20) 年 英文国際誌 1 編
- ・ 2009 (平成 21) 年 英文国際誌 2 編 和文誌 1 編

#### 研究助成等

- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 基盤研究 (C) (一般)「重症筋無力症自己抗体のスペクトラムに関する研究」主任研究者 (平成 19 年-22 年)
- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 基盤研究 (C) (一般)「損傷神経に誘導される新規蛋白がイオンチャンネル活動調節・痛み情報伝達に果たす役割」分担研究者 (主任研究者：横山 茂) (平成 21 年-23 年)
- ・ 厚生労働省・難治性疾患対策研究事業「免疫性神経疾患に関する研究」班・分担研究者
- ・ 文部科学省 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム (学生支援 GP) 選定 (平成 19 年-22 年) 「心と体の育成による成長支援プログラム -社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成-
- ・ 平成 21 年度受諾研究「神経難病等の自律神経異常における脈波解析の試み」主任研究者
- ・ 平成 21 年度受諾研究「高次機能障害 (認知症等) の時計認識に対する検討」主任研究者

#### 論文・報告書等

##### (報告書)

- ・ 田代邦雄、丸田高広、吉川弘明、足立由美、鈴木健一、横地英博、坂井健二、佐藤日出夫、柴田裕行、岩佐和夫、山田正仁. 能登半島地震における神経難病患者の身体・社会的被害と心身の障害に関する調査. 厚生労働省 重傷難病患者の地域医療体制の構築に関する研究班 平成 19 年度班会議報告書 2008
- ・ 吉川弘明、丸田高広、梅下翔、高瀬文超、吉川弘毅、角弘諭、枝廣茂樹、本崎裕子、古川裕、岩佐和夫、山田正仁. 重症筋無力症の興奮収縮連関における自己抗体の検討；抗 RyR 抗体、抗 DHP 抗体の IgG

Subclass 解析. 厚生労働省 免疫性神経疾患に関する調査研究班 平成 19 年度班会議報告書 2008

- ・ 吉川弘明、丸田高広、高瀬文超、吉川弘毅、中村紗季、琢磨寛孝、角 弘諭、枝廣茂樹、岩佐和夫、山田正仁：筋無力症における新規バイオマーカーの検討；抗 Synaptophysin 抗体。厚生省特定疾患対策研究事業・免疫性神経疾患に関する調査研究・平成 20 年度研究報告書。2009
- ・ 吉川弘明、足立由美、鈴木健一、宮崎節子、田上芳美、林佳子、廣川早苗、岡本沙織、高信雅子、亀田真紀、岩田恭宜、内山勝晴、古川侃「頭痛保持者の QOL に関する疫学的調査－健康診断に始まる学生支援の視点から－」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 46 No.1 p. 228 2009.2
- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、林佳子、廣川早苗、岡本沙織、高信雅子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川侃「肥満、やせの学生の QOL 評価と健康教育－BMI と SF36、ライフスタイル（食事、運動）との関連－」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 46 No.1 p. 173 2009.2

#### (論文)

- ・ Maruta T, Yoshikawa H, Fukasawa S, Umeshita S, Inaoka Y, Eda Hiro S, Kado H, Motozaki Y, Iwasa K, Yamada M. Autoantibody to dyhydropyridine receptor in myasthenia gravis. J Neuroimmunol, 2009 Mar;208(1-2):125-9
- ・ Suzuki S, Utsugisawa K, Yoshikawa H, Motomura M, Matsubara S, Yokoyama K, Nagane Y, Maruta T, Satoh T, Sato H, Kuwana M, Suzuki N. Autoimmune targets of heart and skeletal muscles in myasthenia gravis. Arch Neurol 2009 Sep 14 [Epub ahead of print]
- ・ 吉川弘明：重症筋無力症－病態解明と診療の進歩：成人型全身型重症筋無力症. Clinical Neuroscience 26(9):979-982, 2008
- ・ 吉川弘明：重症筋無力症. Modern Physician 28(5):639-645, 2008
- ・ 吉川弘明：重症筋無力症の診断 新たな診断方法. 脳 2 1 11(2):238-242, 2008

#### (著書)

- ・ 吉川弘明 健康論 金沢大学「大学・社会生活論」テキスト編集会議（編）知的キャンパスライフのすすめ -スタディ・スキルズから自己開発へ- 学術図書出版社. pp105-112, 2008
- ・ 吉川弘明：全身型重症筋無力症に術前ステロイド治療は必要か 岡本幸市、棚橋紀夫、水澤英洋（編）EBM 神経疾患の治療 2009-2010 中外医学社. Pp567-571, 2009
- ・ 吉川弘明：日経 BP ムック「変革する大学」シリーズ 金沢大学 理工研究域 2010-2011 年版、学生支援 GP「心と体の育成による成長支援プログラム -社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成-」、pp28-31 2009

#### 学外講演

- ・ 2008 年 6 月 7 日 第 8 回重症筋無力症フォーラム 東京 「重症筋無力症治療の現状と未来への展望」
- ・ 2008 年 10 月 25 日 第 1 回 Metropolitan Neuroimmune Network 学術講演会 東京 「重症筋無力症の病態と治療」
- ・ 2009 年 9 月 26 日 重症筋無力症講演会（金沢市泉野・元町・駅西福祉健康センター主催）「重症筋無力症の治療 -現状と未来-」
- ・ 2009 年 11 月 7 日 第 8 回関東甲信越地区重症筋無力症研究会 東京 「重症筋無力症臨床研究の動向」

- ・ 2009年11月30日 南砺市学校保健会保健主事・養護教諭秋季合同研修会 「学校における感染症対策 -新型インフルエンザ対応を含めて-

#### 学外における社会貢献活動

- ・ 厚生労働省・難治性疾患対策研究事業「免疫性神経疾患に関する研究」班・分担研究者
- ・ 日本多発性硬化症協会 医学顧問
- ・ Mayo Neuroscience Forum 幹事
- ・ 静岡大学外部評価委員 (2008年)
- ・ 2009.8.27 教員免許状更新講習「学校保健に必要な知識のワクチン」講師 (学校における感染症対策) 1/6 コマ担当

#### 特許

- ・ [特許公開 2009-092561]吉川弘明、丸田高広：ジヒドロピリジン受容体抗体レベルに基づく胸腺腫合併重症筋無力症の診断方法。出願者；金沢大学。
- ・ [特許出願 2008-225497]角弘諭、吉川弘明、丸田高広、相馬努：内容未公開。
- ・ [特許出願 2008-252690]吉川弘明、丸田高広、角弘諭：内容未公開。
- ・ [特許出願 2009-013654]吉川弘明、丸田高広、角弘諭：内容未公開。

### 鈴木 健一

#### 学内委員会など

- ・ 学生相談専門委員会委員
- ・ 学生サポートガイドブック編集委員長
- ・ きいつけまっし編集委員会委員
- ・ ハラスメント相談員 (助言者)
- ・ ピア・サポート・ルーム専門スーパーバイザー
- ・ なんでも相談室相談員
- ・ 共通教育委員会教務・学生委員
- ・ 平成21年度社会技術研究開発事業研究開発プログラム「科学技術と社会の相互作用」による研究開発プロジェクト「自閉症にやさしい社会：共生と治療の調和の模索」の大学生早期発見・治療・支援研究グループメンバー
- ・ 金沢大学喫煙対策ワーキング・グループ・メンバー

#### 学内での教育的活動

- ・ 「カウンセリングの初歩」(共通教育後期) 15コマ/15を担当。
- ・ 「臨床心理学特論2」(教育学研究科前期) 15コマ/15を担当。
- ・ 「大学社会生活論」(共通教育前期) 3クラス 1コマ/15ずつ担当
- ・ ランチョンセミナー 2008.4.16、2009.6.1

#### 学内講演

- ・ 2008.5.27 平成20年度北陸地区国立大学法人等初任者研修 講師
- ・ 2008.6.18 ハラスメント研修会 講師
- ・ 2008.9.26 保健学科教職員対象研修会 講師

- ・ 2009. 1. 15 学生支援 GP「夢分析」講師
- ・ 2009. 2. 16 サークルリーダー研修会 講師
- ・ 2009. 4. 8 平成 21 年度学生相談研修会 講師
- ・ 2009. 6. 10 平成 21 年度第 1 回保健学 FD 研修会 講師
- ・ 2009. 7. 8 平成 21 年度第 2 回保健学 FD 研修会 講師
- ・ 2009. 7. 14 ハラスメント研修会 講師
- ・ 2009. 11. 11 平成 21 年度第 3 回保健学 FD 研修会 講師

#### 学会発表

- ・ 日本心理臨床学会第 27 回大会シンポジウム「日本で心理臨床を学ぶ留学生の受け入れ・サポート・指導」シンポジスト 於つくば国際会議場 2008. 9. 4-7
- ・ 日本心理臨床学会第 27 回大会自主シンポジウム「日本心理臨床の国際交流アジアで果たしうる役割」話題提供 於つくば国際会議場 2008. 9. 4-7
- ・ 日本心理臨床学会第 28 回大会自主シンポジウム「日本在住の外国人に対する心理臨床を考える」 話題提供 於東京国際フォーラム 2009. 9. 20-22
- ・ 鈴木健一:生き生きとした学生相談を構築するユーモアの活用ー対人関係的精神分析を援用した事例研究ー 日本学生相談学会第 27 回大会 於津田塾大学 2009. 5. 23-25.
- ・ The 5th World Congress for Psychotherapy, Symposia : “What modifications and special considerations are necessary when we practice western-born psychotherapies with Chinese and Japanese clientele?” Convener Beijing, China 2008. 10. 12-15.
- ・ 平成 21 年度全国保健管理協会東海・北陸地方部会パネル 3 司会 於富山大学 2009. 7. 23-24
- ・ 平成 21 年度メンタルヘルス研究協議会第 2 分科会 司会 於名古屋大学 2009. 9. 10-11
- ・ 平成 21 年度第 47 回全国学生相談研修会 T1 司会 於東京国際フォーラム 2009. 11. 24-26

#### 学会における貢献

- ・ 日本心理臨床学会 国際交流委員会委員
- ・ 日本学生相談学会第 26 回大会準備委員会 準備委員長
- ・ 日本学生相談学会理事 学術交流委員会委員
- ・ 日本精神分析学会 会員
- ・ William Alanson White Institute for Psychoanalysis and Psychotherapy Corresponding Member
- ・ 平成 21 年度東海北陸地区メンタルヘルス研究協議会実行委員会委員
- ・ 石川県臨床心理士会 事務局長

#### 学会論文査読

- ・ 2009 (平成 21) 年 和文誌 1 編

#### 論文・報告書等

##### (報告書)

- ・ 窪内節子・鈴木健一 学生相談の基礎. 第 46 回全国学生相談研修会報告書 p. - (平成 21 年 3 月発行)
- ・ 鈴木健一:学生相談について. 平成 20 年度大学コンソーシアム石川 FD 研修会報告書ー高等教育機関の FD 義務化にあたってー, 59-63. (平成 20 年 11 月発行)

##### (論文)

- ・ 鈴木健一：共感について考えてみるー金澤論文へのコメントー。神戸松蔭こころのケア・センター臨床心理学研究, 3, 44-46, 2008. 4.
- ・ 鈴木健一：ニューヨークを中心としたアメリカの学生相談の現状についてー統計資料と精神分析の視点を通してー, 学生相談研究, 29(3), 273-284, 2009. 1.

(翻訳)

- ・ 川畑直人・鈴木健一 (監訳)：精神分析臨床を生きるー対人関係学派から見た価値の問題ー, 創元社, 2009. 5. 20

学外講演

- ・ 2008. 8. 18ー28 金沢大学公開講座「心と身体の健康」講師 (第4回「無意識を旅する」) 1/4 コマ担当
- ・ 2009. 11. 30ー12. 2 第46回全国学生相談研修会 講師

学外における社会貢献活動

- ・ 平成 20, 21 年度石川県スクールカウンセラー
- ・ 平成 20, 21 年度金沢市巡回専門相談員
- ・ 緊急支援臨時スクールカウンセラー (2008. 5. 3)
- ・ 2009. 8. 27 教員免許状更新講習「学校保健に必要な知識のワクチン」講師 (スクールカウンセリング) 1/6 コマ担当
- ・ 放送大学大学院 客員准教授

足立 由美

学内委員会など

- ・ 金沢大学学生相談専門委員会委員 (2008 年度)
- ・ 金沢大学学生支援 GP「心と体の育成による成長支援プログラムー社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成ー」推進副責任者・学生支援 GP プロジェクトメンバー
- ・ ピア・サポート・ルーム専門スーパーバイザー
- ・ なんでも相談室相談員
- ・ ハラスメント相談員 (助言者)

学内での教育的活動

- ・ 「教育心理学特論」(教育学研究科・後期) 15/15 コマ担当。
- ・ 「健康論」(共通教育「大学・社会生活論」・前期) 2008 年度 1 クラス、1/15 コマ担当。2009 年度 3 クラス、1/15 コマ担当。
- ・ 「健康論実践 1ー救急蘇生と安全な大学生活ー」(共通教育・前期、後期) コーディネーター。2008 年度 2 クラス、2009 年度 1 クラス。
- ・ 「健康論実践 2ー生活習慣病予防を食事から考えるー」(共通教育・後期) コーディネーター。2008 年度 2 クラス、「食事と心の健康」1/7.5 コマ担当。2009 年度 1 クラス、「食事と心の健康」1/7.5 コマ担当。
- ・ 「健康論実践 3ー自己発見のためのグループワークー」(共通教育・前期) コーディネーター。2008 年度 1 クラス、7.5/7.5 コマ担当。2009 年度 1 クラス、7.5/7.5 コマ担当。
- ・ 2008. 4. 28 ランチョンセミナー「GP シャトルバスに乗ろう！」
- ・ 2008. 6. 6 ランチョンセミナー「学生支援 GP プログラムに参加してみよう！」



- ・ 2008. 6. 17 学生支援 GP 自分を見つめるプログラム講師「コミュニケーションについて学ぼう」
- ・ 2008. 7. 25 3寮執行部との懇談会出席（北冥寮）
- ・ 2008. 10. 7 ランチョンセミナー「学生支援 GP の集中講義「健康論実践」
- ・ 2008. 10. 24 ランチョンセミナー「学生支援 GP カフェOPEN！」
- ・ 2008. 11. 14 ランチョンセミナー「学生支援 GP が招く医師たち」
- ・ 2009. 2. 10 3寮執行部との懇談会出席（泉学寮）
- ・ 2009. 4. 15 ランチョンセミナー「学生支援 GP で盛り上がろう！」
- ・ 2009. 5. 8-30 学生支援 GP 自分を見つめるプログラムコーディネーター「性格検査で自己分析」
- ・ 2009. 6. 12、6. 19 学生支援 GP 自分を見つめるプログラム&アカンサス・インターンシップ講師「自己分析セミナー—今から始めるやりたいことさがし—」
- ・ 2009. 10. 13 ランチョンセミナー「学生支援 GP でこんなことやってます！」
- ・ 2009. 10. 15 学生支援 GP 自分を見つめるプログラムファシリテーター「性格検査で自己分析—グループバージョン—」
- ・ 2009. 10. 30、11. 17 学生支援 GP 自分を見つめるプログラム&アカンサス・インターンシップ講師「自己分析セミナー—自分さがし、適職さがし—」
- ・ 2009. 12. 11 学生支援 GP 自分を見つめるプログラム&アカンサス・インターンシップ講師「自己分析セミナー—社会人基礎力トレーニング 今から鍛える人間力—」

#### 学内講演

- ・ 2008. 6. 23 第 187 回共同学習会 発表者 「コミュニケーション・プレイスについて—学生支援 GP シリーズ第二回—」
- ・ 2008. 9. 22 平成 20 年度第 1 回学生相談研修会：なんでも相談員研修会講師
- ・ 2008. 10. 16 平成 20 年度北陸地区国立大学法人等係長・専門職員研修「大学という職場におけるメンタルヘルスケアの実際」
- ・ 2009. 9. 30 平成 21 年度第 1 回学生相談研修会：なんでも相談員研修会講師
- ・ 2009. 10. 6 第 246 回共同学習会 発表者 「学生支援 GP の健康教育について—学生支援 GP シリーズ第三回—」

#### 学会発表

- ・ 足立由美「学生の心理発達の变化が求める「居場所」の機能—学生生活サイクルの視点での学生支援の必要性—」日本学生相談学会第 26 回大会 於石川県文教会館 2008. 5. 15~17
- ・ 丸田高広、吉川弘明、足立由美、鈴木健一、佐藤日出夫、柴田裕行、岩佐和夫、山田正仁「能登半島地震における神経難病患者の身体・社会的被害と心身の障害に関する調査」第 49 回日本神経学会総会 於横浜 2008. 5. 15~17
- ・ 足立由美「心と体の育成による成長支援プログラム」全国大学保健管理協会 平成 20 年度東海・北陸地方部会 パネルディスカッション 3「学生支援を支えるマネジメントについて」パネリスト 於グランヴェール岐山 2008. 7. 24~25
- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、林佳子、廣川早苗、岡本沙織、高信雅子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川侃「肥満、やせの学生の QOL 評価と健康教育—BMI と SF36、ライフスタイル（食事、運動）との関連—」第 46 回全国大学保健管理研究集会 於京都テルサ 2008. 10. 29~30

- ・ 吉川弘明、足立由美、鈴木健一、宮崎節子、田上芳美、林佳子、廣川早苗、岡本沙織、高信雅子、亀田真紀、岩田恭宜、内山勝晴、古川侃「頭痛保持者の QOL に関する疫学的調査－健康診断に始まる学生支援の視点から－」第 46 回全国大学保健管理研究集会 於京都テルサ 2008. 10. 29～30
- ・ 足立由美、松本聡子、安住伸子「集中講義で行うグループプログラムの効果－総合大学の共通教育科目で行う意義－」日本学生相談学会第 27 回大会 於津田塾大学 2009. 5. 23～25
- ・ 足立由美、門地里絵、片山敦、吉川弘明「“居心地のよい” 香りの使用が大学生の対人関係場面における自己効力感に与える影響」日本健康心理学会第 22 回大会 於早稲田大学国際会議場 2009. 9. 7～8
- ・ 吉川弘明、足立由美、高信雅子、生田聡美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、鈴木健一、小泉順二「保健管理センターによる健康教育 1－集中講義参加者の解析－」第 47 回全国大学保健管理研究集会 於札幌コンベンションセンター 2009. 9. 16～17
- ・ 足立由美、吉川弘明、高信雅子、生田聡美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、鈴木健一、小泉順二「保健管理センターによる健康教育 2－集中講義の教育効果－」第 47 回全国大学保健管理研究集会 於札幌コンベンションセンター 2009. 9. 16～17
- ・ 足立由美、吉川弘明「大学生に対する心と体の統合的健康教育プログラムの有効性に関する研究」日本公衆衛生学会第 68 回大会 於奈良県文化会館・奈良県新公会堂 2009. 10. 21～23

#### 学会における貢献

- ・ 日本学生相談学会会員
- ・ 日本心理臨床学会会員
- ・ 日本健康心理学会会員
- ・ 日本教育心理学会会員
- ・ 日本公衆衛生学会会員
- ・ 米国大学保健管理学会 (American College Health Association) 会員

#### 学会論文査読

- ・ 2009 年 和文誌 1 編

#### 研究助成等

- ・ 平成 19 年度共同研究「香りの健康心理学的効果と個人要因に関する研究」(花王株式会社との共同研究、20 年 8 月まで) 主任研究者
- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 若手研究 (B)「大学生に対する心と体の統合的成長支援プログラムの実証的研究」(平成 21 年度-) 主任研究者

#### 論文・報告書等

##### (著書)

- ・ 足立由美 「本能・食行動」松本和雄監修、小原依子編著「音楽療法士のための心理学」第 3 楽章第 1 節・分担執筆 朱鷺書房 2008. 11

##### (報告書)

- ・ 足立由美「心と体の育成による成長支援プログラム (学生支援を支えるマネジメントについて)」全国大学保健管理協会 平成 20 年度東海・北陸地方部会報告書 pp. 39 -42 2008. 12
- ・ 田代邦雄、丸田高広、吉川弘明、足立由美、鈴木健一、横地英博、坂井健二、佐藤日出夫、柴田裕行、岩佐和夫、山田正仁、能登半島地震における神経難病患者の身体・社会的被害と心身の障害に関する調

査. 厚生労働省 重傷難病患者の地域医療体制の構築に関する研究班 平成 19 年度班会議報告書 2008

- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、林佳子、廣川早苗、岡本沙織、高信雅子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 侃「肥満、やせの学生の QOL 評価と健康教育—BMI と SF36、ライフスタイル（食事、運動）との関連—」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 46 No.1 p. 173 2009.2
- ・ 吉川弘明、足立由美、鈴木健一、宮崎節子、田上芳美、林佳子、廣川早苗、岡本沙織、高信雅子、亀田真紀、岩田恭宜、内山勝晴、古川 侃「頭痛保持者の QOL に関する疫学的調査—健康診断に始まる学生支援の視点から—」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 46 No.1 p. 228 2009.2
- ・ 鈴木健一・足立由美「日本学生相談学会第 26 回大会シンポジウム 教員と学生に対する教育を考える—FD 義務化を迎えて—」金沢大学保健管理センター 金沢大学保健管理センター年報・紀要 No.1 pp. 70-82 2009.3

#### (論文)

- ・ 足立由美、吉川弘明、廣川早苗、高信雅子「肥満、やせの大学生の QOL 評価と健康教育の可能性—SF36 による評価とライフスタイル（食事、運動）の調査—」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 46 No.2 pp. 167-172 2009.3
- ・ 足立由美「平成 19 年度新入生の健康調査結果—健康関連 QOL 尺度 SF-36 の導入—」金沢大学保健管理センター 金沢大学保健管理センター年報・紀要 No.1 pp. 65-69 2009.3
- ・ 足立由美「大学における心と体の統合的健康教育の実践—食育プログラムを中心に—」全国学校栄養士協議会 栄養教諭 No.15 pp. 54-59 2009.4
- ・ 足立由美「2008 年度の学生相談界の動向」学生相談研究 Vol.30, No.1 pp. 59-72 2009.7

#### 学外講演

- ・ 2009.8.18~28 金沢大学公開講座「心と体の健康」講師（パーソナリティと健康）1/4 コマ担当
- ・ 2009.1.20 弥生公民館講演「高齢者の心と体の健康について」

#### 学外における社会貢献活動

- ・ 2009.8.27 教員免許状更新講習「学校保健に必要な知識のワクチン」講師（学校におけるメンタルヘルスケアと食育）1/6 コマ担当

## 内山 勝晴

#### 学内委員会など

- ・ 金沢大学角間地区キャンパス産業医
- ・ 金沢大学角間キャンパス安全衛生委員会委員

#### 学内講演

- ・ 体育会サークル対象・熱中症／救急処置講習会（年 7～8 回）

#### 学会発表

- ・ 国内：主演者 3 共同 15
- ・ 海外：国際学会 共同演者 3

#### 論文・報告書等

##### (論文)

- ・ Uchiyama K, Hayashi K, Fujino N, Konno T, Sakamoto Y, Sakata K, Kawashiri M, Ino H, Yamagishi

M. [Impact of QT variables on clinical outcome of genotyped hypertrophic cardiomyopathy.] Ann Noninvasive Electrocardiol. 2009;14 (1):65-71.

#### (著書)

- ・ 重症心不全の予防と治療 北風政史編著 中外医学社 2009.9 (分担執筆)

#### 学会における貢献

- ・ 日本内科学会 会員
- ・ 日本循環器学会 会員
- ・ 日本心臓病学会 会員
- ・ 日本心血管インターベンション学会 会員
- ・ 日本不整脈学会 会員

#### 学外における公的活動

- ・ 北陸中央病院循環器外来担当
- ・ 2009 KCC (PCI live demonstration Kanazawa) Local Faculty
- ・ 2009 Slender club Japan (Slender PCI live in KCVH) Local Faculty

#### 清水 美保

##### 学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学安全衛生委員会委員

##### 学内講演

- ・ 2009.6.24, 7.15 熱中症対策および心肺蘇生/AED 講習会

##### 学内での診療活動

- ・ 附属病院血液浄化療法部担当 (月曜日, 水曜日午前, 金曜日)

##### 学会発表

- ・ 會津元彦, 清水美保, 堀上健幸, 山本正和, 亀谷富夫: PET-CTが大きく診断に寄与した高安病の1例. 第204回日本内科学会北陸地方会, 富山, 2008.3.2
- ・ 會津元彦, 堀上健幸, 清水美保, 川野充弘, 山田和徳, 藤井博: 高安病の診断に18F-FDG-PETが大きく寄与した1例. 第52回日本リウマチ学会総会・学術集会, 札幌, 2008.4.20-4.23
- ・ 清水美保, 會津元彦, 堀上健幸, 山本正和, 亀谷富夫, 山田和徳, 東馬智子, 谷内江昭宏: コルヒチン投与が腎機能低下の進行抑制に有効であった家族性地中海熱の1例. 第205回日本内科学会北陸地方会, 金沢, 2008.6.8

##### 学会における貢献

- ・ 日本内科学会 認定医、専門医
- ・ 日本腎臓学会 専門医
- ・ 日本透析医学会 専門医
- ・ 日本アフェレシス学会 専門医
- ・ 日本リウマチ学会 専門医

- ・ 日本病態栄養学会 会員

## 中林 肇（研究協力員）

### 学会発表

- ・ 西澤 誠, 中川 淳, 中林 肇: 自然科学研究機構 生理学研究所研究会シンポジウム「中枢・末梢臓器間連携による摂食、エネルギー代謝調節」: GLP-1 による肝-膵神経性連関 (口演)、岡崎、2008. 2. 28

### 学会における貢献

- ・ 日本糖尿病学会 学術評議員 専門医 研修指導医
- ・ 日本内分泌学会 功労代議員 専門医
- ・ 日本神経内分泌学会 功労評議員
- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 米国糖尿病学会 会員
- ・ 米国内分泌学会 会員

### 論文・報告書等（報告書）

#### （論文）

- ・ Nakagawa A, Ueno K, Ito M, Okamoto S, Uehara K, Ito H, Mishina S, Kinoshita E, Nojima T, Takahashi H, Ikawa H, Takashima S, Nishizawa M, Nakano S, Kigoshi T, Nakabayashi H, Uchida K: Insulin responses to selective arterial calcium infusion under hyperinsulinemic euglycemic glucose clamps: case studies in adult nesidioblastosis and childhood insulinoma. *Endocrine Journal* 2008, 54(1): 27-33
- ・ Iwasaki Y, Nakabayashi H, Kakei M, Schimizu H, Mori M: Nesfatin-1 evokes Ca<sup>2+</sup> signaling in isolated vagal afferent neurons via Ca<sup>2+</sup> influx through N-type channels *Biochem BioChem Res Comm.* 2009

#### （総説）

- ・ 中川淳, 中林肇, 古家大祐: 特集インクレチン 4) インクレチンの膵外作用、中枢神経系への作用 月刊糖尿病 2009

### 学外における社会貢献活動

- ・ 石川県立中央病院 倫理委員会委員 (2008-)
- ・ 石川県立看護大学 非常勤講師 (2009-)

## 根上 昌子（研究協力員）

### 学会発表

- ・ 根上昌子、丸田高広、角弘論: FDG-PET を用いた「ものわすれ健診」; ものわすれ外来との総合診断システム。第 17 回日本脳ドック学会総会、郡山、2008. 6. 28-29
- ・ 根上昌子、丸田高広、角弘論: FDG-PET を用いた「ものわすれ健診」; 「ものわすれ外来」との総合診断システム。第 49 回日本人間ドック学会学術大会、徳島、2008. 9. 11-12
- ・ 根上昌子、丸田高広、角弘論: FDG-PET を用いた「ものわすれドック」システム。第 27 回日本認知症学会学術集会、前橋、2008. 10. 10-12
- ・ 角弘論、丸田高広、根上昌子: 認知症脳画像における新融合技術の臨床的有用性の検討—機能画像と形

態画像の統合化一。第 27 回日本認知症学会学術集会、前橋、2008. 10. 10-12

- ・ 丸田高広、吉川弘明、角弘諭、根上昌子；レビー小体型認知症における自律神経検査の選択。第 27 回日本認知症学会学術集会、前橋、2008. 10. 10-12
- ・ 根上昌子、丸田高広、角弘諭、東壮太郎、山本達：もの忘れドックにおける交感神経皮膚反応の有用性。第 18 回日本脳ドック学会総会、東京、2008. 6. 4-5
- ・ 角弘諭、根上昌子、丸田高広：新フュージョン画像を用いた認知症評価システムの臨床的有用性の検討—形態画像と機能画像の統合化一。第 28 回日本認知症学会学術集会、仙台、2009. 11. 20-22

#### 学会における貢献

- ・ 日本ドック学会 専門医
- ・ 日本温泉気候物理医学会 認定医
- ・ 総合健康診断医学会
- ・ 日本内科学会
- ・ 日本消化器集団検診学会
- ・ 日本禁煙学会日本
- ・ 産業衛生学会
- ・ 日本肺癌学会
- ・ 日本睡眠学会
- ・ 肥満学会

#### 学外における社会貢献活動

- ・ 2009. 7. 26 七尾サンライフプラザ 第一回アレルギー教室 口演 指導

## 2. スポーツ教育部門

### 北浦 孝

#### 学内委員会など

- ・ 共通教育「身体・スポーツ系」代表幹事
- ・ 共通教育テーマ別・一般科目委員会委員

#### 学内での教育的活動

- ・ 「体カリフレッシュ・導入科目」(前期) 2コマ 15回/15週を担当
- ・ 「テニス・実技」(前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「ソフトボール・実技」(前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「サッカー・実技」(前期) 2コマ 15回/15週を担当
- ・ 「バスケットボール・実技」(後期) 2コマ 15回/15週を担当
- ・ 「Jog&Circuit トレーニング・実技」(後期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「パワートレーニング・演習」(後期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「自然研学大学院薬学研究科運動生理学」後期 1コマ 15回/15週を担当
- ・ アメリカンフットボール部 顧問
- ・ チア・リーダー部 顧問
- ・ アスレチックトレーナー部 顧問

#### 学会発表

- ・ 54rd American College of Sports Medicine 「Distinct effects of Clenbuterol on Numb of rat soleus and EDL muscles.」 Takashi Kitaura、 New Orleans (Louisiana) May 30, 2007 (2007年5月30日)
- ・ 第62回日本体力医学会：「高気圧・高酸素環境による糖尿病ラットのヒラメ筋の変化」、上田晃一、石原昭彦、金丸雄志、松本亜希子、北浦 孝. 秋田経済法科大学(秋田)(2007年9月15日)
- ・ 第62回日本体力医学会：「クレンプテロール投与によるラット心筋への影響」、金丸雄志、上田晃一、北浦 孝. 秋田経済法科大学(秋田) (2007年9月16日)

#### 学会における貢献

- ・ アメリカスポーツ医学会 特別会員 (Fellow)
- ・ 日本体力医学会 評議員
- ・ 日本生理学会 会員
- ・ 日本生物物理学会 会員
- ・ 日本薬理学会 会員
- ・ 日本生化学会 会員
- ・ 日本電気泳動学会 会員

#### 学会論文査読

- ・ 2007(平成19)年度 日本生理学会会誌 1編

#### 研究助成等

- ・ 平成17-18年度科学研究費補助金(基盤研究(C))：「ドーピング規制薬物を利用したトレーニング適応

## の分子機構の解析」

### 論文・報告書等

#### (報告書)

- ・ドーピング規制薬物を利用したトレーニング適応の分子機構の解析 北浦 孝(金沢大学保健管理センター) 平成 17-18 年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 研究報告書 p.1-67(平成 19 年 3 月 発行)

#### (論文)

- ・ Kitaura T. Distinct effects of Clenbuterol on Numb of rat soleus and EDL muscles. Med. Sci. Sports Exerc. (2007) 39(5); S224,
- ・ 上田晃一, 石原昭彦, 金丸雄志, 松本亜希子, 北浦 孝. 高気圧・高酸素環境による糖尿病ラットのヒラメ筋の変化. 体力科学 (2007) 56(6);617
- ・ 金丸雄志, 上田晃一, 北浦 孝. クレンブテロール投与によるラット心筋への影響. 体力科学 (2007) 56(6);875
- ・ Kitaura T. Effects of clenbuterol on Notch1 of male rat skeletal muscles. Med. Sci. Sports Exerc. (2006)38(5); S546
- ・ Ueda K, Kanemaru Y, Kitaura T. Effects of clenbuterol on Notch signaling of rat skeletal muscles. 体力科学 (2006) 55(6);908

### 学外における公的活動

- ・ 北陸アメリカンフットボール協会 副理事長
- ・ 石川県アメリカンフットボール協会 副理事長

## 寶學 淳郎

### 学内での教育的活動

#### (学部)

- ・ スポーツの歴史 (2009、前期、15 コマ/15 を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 サッカー (2009、前期、2 クラス、15 コマ/15 を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 リフレッシュスポーツ (2009、前期、15 コマ/15 を担当)
- ・ サッカーの歴史 (2009、後期、15 コマ/15 を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 フットサル (2009、後期 2 クラス、15 コマ/15 を担当)

#### (大学院-教育学研究科)

- ・ 保健体育科教科内容特論 F (2009、前期、15 コマ/15 を担当)
- ・ 教育実践基礎研究 (2009、前期、3 コマ/15 を担当)
- ・ 課題研究 I (2009、前期、15 コマ/15 を担当)
- ・ 保健体育科教科内容研究演習 F (2009、後期、15 コマ/15 を担当)
- ・ 課題研究 II (2009、後期、15 コマ/15 を担当)

### 学会における貢献

- ・ 日本体育学会体育史専門分科会 世話人及び学会誌編集委員 2007
- ・ 東北アジア体育・スポーツ史学会 日本支部理事 2007



- ・日本スポーツ産業学会 スポーツ産業史専門分科会事務局 2007
- ・日本体育学会 会員
- ・スポーツ史学会 会員

#### 学会論文査読

- ・2008年度「体育史研究」 1編
- ・2009年度「体育史研究」 2編

#### 論文・報告書等

##### (著書)

- ・寶學淳郎、旧東ドイツスポーツ関係者の言説－Täve Schur とその自伝－、不昧堂出版

##### (論文)

- ・寶學淳郎、旧東ドイツスポーツ関係者の言説－Helmut Recknagel の自伝を中心に－金沢大学学校教育学類紀要、第2号

## 村山 孝之

### 学内での教育的活動

#### <学部> (共通教育)

- ・メンタルトレーニング 講義 (前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・身体と運動の心理学 講義 (後期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・身体・スポーツ実技/ソフトテニス (前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・身体・スポーツ実技/バドミントン (前期/後期) 各2コマずつ 15回/15週を担当
- ・身体・スポーツ実技/ソフトテニスⅡ (前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・身体・スポーツ実技/ソフトテニス&バドミントン (後期) 1コマ 15回/15週を担当

#### <大学院> (教育学研究科)

- ・保健体育科教科内容研究特論E (前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・保健体育科教科内容研究演習E (後期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・教育実践基礎研究 (前期2) 2コマ 15回/15週を担当

#### <課外活動>

- ・ソフトテニス部顧問

### 学会発表

- ・石村宇佐一、村山孝之、古 章子、野田政弘 (2009) 中学校体育授業におけるメンタルトレーニングプログラムの検討. 日本体育学会 第60回記念大会 広島大学 2009.8.26
- ・Murayama, T. & Sekiya, H. (2009) The relationship between factors of choking in sport. ISSP (International Society of Sport Psychology) 12th World Congress, Morocco, 2009.6.18
- ・Tanaka, Y., Funase, K., Sekiya, H., Murayama, T., & Miki, Y (2009) Modulation of corticospinal excitability during a fine finger movement. ISSP (International Society of Sport Psychology) 12th World Congress, Morocco, 2009.6.19
- ・田中美吏、船瀬広三、関矢寛史、村山孝之 (2008) プレッシャー下における皮質脊髄路の興奮性変化. 日本スポーツ心理学会第35回大会 中京大学 2008.11.16

- ・ 石村宇佐一、野田政弘、村山孝之 (2008) 高等学校体育授業におけるメンタルトレーニングプログラムの検討. 日本体育学会 第 59 回大会 早稲田大学 2008.9.11

#### 学会における貢献

- ・ 日本スポーツ心理学会会員
- ・ 国際スポーツ心理学会会員
- ・ 北米スポーツ心理学会会員
- ・ 日本体育学会会員
- ・ 日本運動学習研究会会員
- ・ 北陸体育学会会員

#### 論文・報告書等

(原著論文)

- ・ 村山孝之、田中美吏、関矢寛史 (2009) 「あがり」の発現機序の質的研究. 体育学研究 54 : 263-277.
- ・ 田中美吏、瓜本健助、村山孝之、関矢寛史 (2009) プレッシャーが全身協応運動に及ぼす影響. スポーツ心理学研究 36 : 103-114.
- ・ 木村展久、村山孝之、田中美吏、関矢寛史 (2008) スポーツにおける「あがり」の原因帰属と性格の関係. 広島大学大学院 総合科学研究科紀要 I 人間科学研究 3 : 1-9.

#### 学内講演

- ・ 2009.12.3 金沢大学学生支援 GP フォーラム「心と体の育成による成長支援プログラム」  
題目：「メンタルトレーニング ーここ一番で実力を発揮するためにー」 講師

#### 学外講演

- ・ 2009.10.31 平成 21 年度日本体育協会公認上級指導員養成講習会 日本体育協会 金沢「スポーツの心理 I」講師
- ・ 2009.10.10 日本体育協会スポーツ指導者資格指導員養成講習会 日本体育協会 金沢「メンタルトレーニングの実際」講師
- ・ 2009.2.7 金沢大学「特別教育セミナー」 題目：「競技復帰のためのメンタルトレーニング」講師